

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

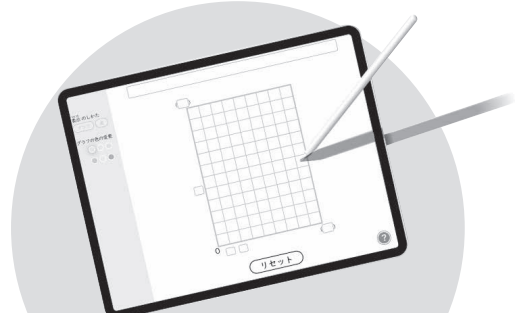
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-147	小学校	算数科	算数	6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 620	わくわく 算数6		

## 1 編修の基本方針

私たちが目指したのは、子どもたちが「主体的・対話的で深い算数の学び」を通して、将来の予測が困難といわれる未来の社会を生き抜いていく力を身につけることです。そのため、「1人1台端末を有効に活用」しながら、自身や友だちとの対話による深い学びや、個別最適な学びが実現できるようにしています。さらにそれらを通して、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなど)で課題とされる「学習意欲面の向上」にも繋げています。



子どもたちが未来を生き抜いていく  
基礎となる資質・能力を培う



1人1台端末を有効活用した  
新時代の学習スタイルを構築する

1

生活していく上で、  
基礎・基本となる数学的な知識・  
技能が習得できる

2

筋道を立てて考える能力を育て、  
ものごとを合理的に処理する  
思考力・判断力・表現力等が  
育成できる

3

新しいものごとを理解し  
創造する能力を育て、  
学びに向かう力・人間性等が  
涵養できる

1

問題解決や基礎・基本の定着など、  
さまざまな場面でICTを利活用して  
学ぶことができる

2

リアルとデジタルのよさをいかし、  
協働的な学びと個別最適な学び  
を実現することができる

3

家庭学習などの自学の場面で、  
自律的に学習を進めることが  
できる

数学的な  
見方・考え方

「数学的な見方・考え方を働かせる」ことを軸として展開しています。

QRコンテンツ

学習に効果的なコンテンツを各紙面のQRコードからご利用いただけます。

\*QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



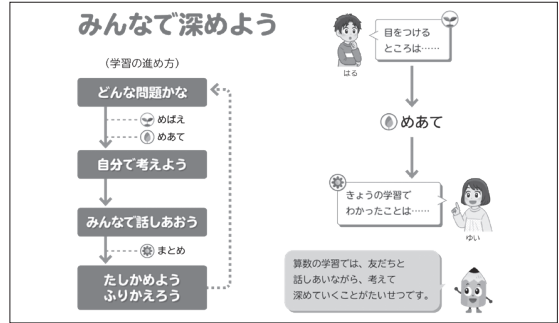
# 「主体的・対話的で深い算数の学び」を実現する

## ① 児童の問いから始まる学びの入口 ～ 『めばえ』から『めあて』、そして『まとめ』へ

### ● 児童が主体となって学べるようにしています

児童自らの問いや気づきを『めばえ』として掲載し、児童から『めあて』を引き出す授業展開ができるよう構成しています。

- 🌱 **めばえ** … 『めあて』に繋がる児童の問いや気づき
- 🔍 **めあて** … 児童から引き出した本時のねらい
- 🌸 **まとめ** … 本時で学習したことのまとめ



>>> p.4『算数の学習の進め方』

## ② 数学的な見方・考え方を軸とした学習展開 ～ 対話的な学びで深めたいポイントの見える化

### ● 数学的な見方・考え方を強調して示しています

問題把握から解決までのプロセスで児童が働かせる 数学的な見方・考え方を例示するとともに、マーカーを付して強調しています。学びあいて深めたいポイントを 見える化し、対話的な学びが充実するようにしています。

### ● 学びの繋がりを重視しています

巻頭『算数で使いたい 考えの進め方』では、前学年の学習における数学的な見方・考え方を整理し、ふり返ることができるようにしています。

また、巻末『学びをつなげよう』では、これまでに学習した内容をふり返るとともに、この本で学ぶこととの繋がりを知ることができます。

>>> p.6『算数の学習の進め方』

## ③ 活用・探究に向かう学びの出口 ～ たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう

### ● 学んだことをふり返り、いかしていけるようにしています

児童自らが単元全体の学習をふり返り、それを活用したり、深めたりする活動を通して、主体的に学習に取り組む態度を育むとともに、価値づけることができるようにしています。

**📄 たしかめよう**

知識・技能と思考力・判断力・表現力等に関する自己評価と学び直し

**🔄 ふりかえろう**

学習に取り組む態度を育むとともに、価値づけるための単元全体のふり返り

**🧩 やってみよう**

『ふりかえろう』での省察をいかし、学びをさらに深める活動

割合を表す 小数	0.01		0.25	
百分率		10%		50%

>>> p.68-69『学びのまとめ』（単元の出口）

## 未来を生き抜く基礎となる力を培い、 新時代の学習スタイルを構築する

### ① 生活をしていく上で基礎・基本となる数学的な知識・技能が習得できる。

#### ●既習事項を活用して新たな知識・技能の習得を図ります

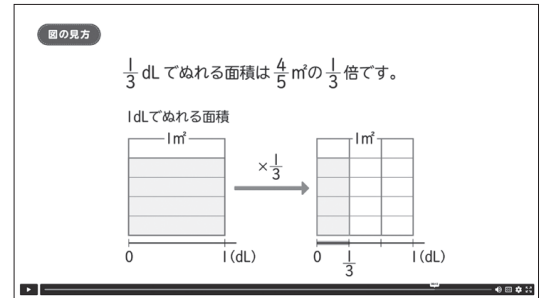
各単元には『とびらページ』を設け、既習事項や身のまわりの事柄から新しい学習へ入っていきけるようにしています。また、ほぼすべての単元にレディネス・チェックとしてご利用いただけるQRコンテンツ(巻末『じゅんぴ』の問題)を用意しています。

#### ●QRコンテンツでつまづきを解消します

全国学力・学習状況調査等での結果や現場の先生方のお声を踏まえ、児童がつまづきやすいとされる内容にはQRコンテンツを配置して、確かな理解が図れるようにしています。

#### ●QRコンテンツで自学をサポートします

『練習』や『復習』などの既習事項の定着を図るコーナーには、問題演習ができるQRコンテンツを用意し、ヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるようにしています。また、主たる問題(■マークの問題)のすべてで解説動画が視聴できるようにし、自学をサポートします。



指導計画の中で反復による定着が必要な単元には『練習』ページを設定しています。また、年間を通して基礎・基本の定着が図れるように、学期の途中と期末に『復習』ページを設定しています。



### ② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する思考力・判断力・表現力等が育成できる。

#### ●数学的な見方・考え方を明確化し、筋道を立てて考える能力を育みます

各単元の『とびらページ』や『じゅんぴ』で既習事項の定着を図るとともに、これまでに学んだことを踏まえて児童自らが数学的な見方・考え方を働かせ、解決の見通しを立てたり、筋道を立てて解決の方法を考えたりすることができるように構成しています。

学習内容の系統の中に数学的な見方・考え方を位置づけ、発展的・統合的に考えることができるようにしています。



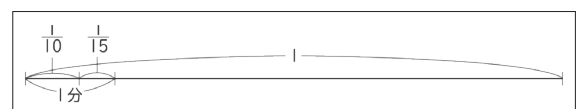
りこ  $\frac{4}{5}$  m<sup>2</sup>の  $\frac{1}{3}$  倍が□m<sup>2</sup>だから、式は  $\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$  だね。

かず 整数や小数のかけ算と同じように考えられるね。

>>> p.43(分数×分数)

#### ●数学的活動をより豊かにする特設単元を設け、思考力・判断力・表現力等を一層育みます

図や表を使って考えたり、説明したりする数学的活動を主とした特設単元を系統的に位置づけ、協働的な学びの活性化と思考力等の育成をより一層図れるようにしています。



そら 全体を1として図にかくと、割合を使って考えることができました。

>>> p.199『見方・考え方を深めよう』

③ 新しいものごとを理解し創造する能力を育て、学びに向かう力・人間性等が涵養できる。

●「やってみよう」という児童の意欲を支援します

児童の問いから学びが始まるようにするとともに、単元の出口では、学習全体をふり返って児童自らが大切だと感じたことを明文化する場面(ふりかえろう)を設け、さらにそれを活用する活動(やってみよう)を例示しています。教科書全体で児童が学び続けるための視座を提示し、学びに向かう力・人間性等が涵養できるようにしています。

●QRコンテンツでも創造性を育みます

プログラミング的思考を育むとともに、算数の理解を深める『わくわくプログラミング』(p.186~187)では、いろいろな考えを何度でも簡単に試し、児童が創造的に取り組むことができるプログラミングのQRコンテンツを用意しています。

QRコンテンツとして、  
・Scratch  
・教科書オリジナル  
の2種を用意しています。



コンピュータやロボットを動かす命令の組み合わせのことを、プログラムといいます。

プログラミングは、プログラムをつくることだよ。

**1** 次のような命令を組み合わせ、1から100までの整数の表の中からいろいろな数の倍数を見つけるプログラムをつくってみましょう。

**命令**

もしいまの数を  でわったあまりが0ならば ...いまの数を口でわったあまりを調べる。

色をぬる ...その数のますに色をぬる。

Scratch-like programming interface showing a loop and a table of numbers from 1 to 100.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

>>> p.186-187『わくわくプログラミング』

単元の流れ

単元とびら	本文	単元のまとめ
日常の事象や既習事項との繋がりから、学習へスムーズに導入します	児童自ら課題を発見し、協働的な学びで理解を深めます ①問題把握と課題発見      ①問題→めばえ→めあて ②自力解決                      ②数学的な見方・考え方 ③協働的な学び                ③まとめ ④学習の定着                    ④問題 ⑤ふりかえり	⑤ たしかめよう 「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」を評価します ④ ふりかえろう 大切な数学的な見方・考え方をふり返り、「主体的に学習に取り組む態度」を評価します ③ やってみよう 児童自ら発展的に考えていくためのコーナー
学びのサポート		
<b>じゅんぴ</b> 既習事項の定着を図るコーナー	<b>もっと練習</b> 個に応じて学習内容の定着を図るコーナー	<b>学びをつなげよう</b> 既習事項との繋がりを確認するコーナー



主たる問題として掲載した①マークのすべての問題で、その解説動画を視聴することが可能です。



## 2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 ●もくじ ●教科書の使い方 ●学習の進め方	▶『もくじ』や『学びをつなげよう』では既習事項との繋がりを示しています。また、『教科書の使い方』や『学習の進め方』では、 <b>主体的に取り組み、理解を確かなものにする態度が養える</b> ようにしています。(第1号)	表紙裏-p.9、 266-269
単元 ●単元とびら ●本文 ●単元のまとめ	▶学習の導入で日常の事象を取り上げたり、学習したことを生活で活用する場面を設けたりして、 <b>生活と関連づけて学習に取り組める</b> ようにしています。(第2号)	p.10-11、70、106、 154 など
	▶課題発見となる吹き出しに『めばえ』マークをつけ、問題解決の過程に自分で考える場面や自分の考えを発表する場面を位置づけることで、 <b>児童自らが課題を発見し、真理を求める態度が養える</b> ようにしています。(第1号)	全体
	▶問題解決の過程に話しあいの場面を位置づけ、 <b>協働的に学びを深めていける</b> ようにするとともに、自他の敬愛と協力を重んじられるよう、性別や国籍等による役割を固定せず、 <b>一人ひとりが自他を尊重し、互いに協力して学ぶことができる</b> ようにしています。(第3号)	全体
	▶中学校数学との繋がりを踏まえて <b>発展的・統合的な事柄</b> を『算数ポケット』などで適宜取り上げ、 <b>幅広い知識と教養が身につけられる</b> ようにしています。(第1号)	p.23、108、116、 169、213 など
	▶米作りに関する題材や『未来へのとびら お仕事インタビュー』などを取り上げ、職業との関連に気づき、 <b>勤労を重んずる態度や社会の形成に参画する態度が養える</b> ようにしています。(第2・3号)	p.184、230-240 など
	▶森林面積の題材や『わくわくSDGs』の学習を通して、 <b>環境の保全に寄与する態度が養える</b> ようにしています。(第4号)	p.82-83、204-207 など
▶博多祇園山笠や大阪・関西万博の題材を取り上げ、 <b>我が国の伝統と文化や他国を尊重する態度が養える</b> ようにしています。(第5号)	p.10-11、150-151、 207 など	
▶児童の興味・関心に応じたふり返りと発展課題を通して、 <b>個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性が培える</b> ようにしています。(第2号)	p.69、p.105 など	
巻末 ●学びのサポート	▶巻末には <b>自らの学習を調整しながら学べるコーナー</b> を設け、 <b>自主及び自律の精神を養える</b> ようにしています。(第2号)	p.241-270

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ユニバーサルデザインへの  
取り組み

- デザインにおいては、個人差を問わず、必要な情報が正確に伝わるように配慮しています。
- 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず**学びやすいもの**となるようにMUD協会の検証を受けています。

## 特別支援教育への配慮

- 文章の改行をすべて文節で行うことで、読みやすくしています。
- 特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けた**インクルーシブ教育(共育)**に配慮しています。

道徳教育との  
関連、人権・ジェンダー・  
福祉への配慮

- 話しあいを通して学びを深めていく場面を設けるとともに、**他者の考えを尊重したり、他者の考えを踏まえて自分の考えを見直したりすることができる**ように配慮しています。
- 子どもの写真やイラストにおいては、**性別や国籍などによって役割を固定しない、服の色といった固定的なイメージで性別を区別しない**など、**性別・人種などに配慮し、互いに協力しながら活動できる**ようにしています。

ご指導経験の  
浅い先生への配慮

- 『めあて』と『まとめ』を掲載して学習のねらいや展開をわかりやすく示すとともに、「**数学的な見方・考え方**」を明確化し、価値づけるポイントが**はっきりとわかる**ようにしています。
- 教師用指導書を発刊し、日々の教材準備や個別的な指導を行いやすくするなど、よりよい授業を効率的に行っていくための支援をします。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-147	小学校	算数科	算数	6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 620	わくわく 算数6		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 数学的な見方・考え方を価値づけ、 主体的・対話的で深い学びを実現する

「数学的な見方・考え方」は、問題把握から解決までのすべてのプロセスにおいて児童の内面で働くものと考えられます。授業においては、児童が何に着目し、どのように考えているかという「数学的な見方・考え方」を価値づけることによって「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すことが大切です。

#### ① 前学年で働かせた「数学的な見方・考え方」を整理し、確認できるようにしています

巻頭「考えの進め方」では、前学年で取り組んだ問題解決のプロセスに照らして「数学的な見方・考え方」を整理して掲載しています。

本学年においても、既習事項との繋がりをもとにして「数学的な見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようにしています。



巻末には、これまでに学習したことをいつでも確認できるコーナー「学びをつなげよう」があります。これまでの学習と本学年の学習の繋がりも示しています。

算数で使いたい  
**考えの進め方** 5年の学びをふりかえてみよう  
学びをつなげよう 266 ページ

図を使って考える  
子ども  
おとな おとな おとな おとな  
32人  
 $32 \div 4 = 8$   
はる 図に表すと、どんな式になるのかわかりやすいね。

わけをはっきりさせる  
三角形の3つの角の和は  $180^\circ$  だから、  
四角形の4つの角の和は  $180^\circ \times 2$  になります。  
ゆい

>>> p.9「考えの進め方」

#### ② 「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値づけられるようにしています

既習事項をもとに児童自ら「問いや気づき」を持ち、主体的に学習を進めていけるようにするとともに、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせている様子にはマーカーを付して強調しています。

よりよい解決のための  
数学的な見方・考え方

>>> p.72 (組み合わせ)

買うものに○をつけました。  
はる

買わないものに×をつけました。  
エマ

4種類のアイスクリームの中から3種類を選ぶときの組み合わせは、全部で4とおりあります。

表に整理すると、選ぶものと、選ばないものがはっきりわかるね。  
そら

選ばないものに着目して調べてもいいね。  
かず

#### ③ 「数学的な見方・考え方」を児童自ら価値づけ、いかしていけるようにしています

単元の出口では、単元全体を通して児童1人ひとりが大切だと感じた「数学的な見方・考え方」をふり返る場面(ふりかえろう)と、さらにそれをいかして取り組む場面(やってみよう)を設定しています。

## 学年の特色、つまずきの多い箇所への対応

2年生からは、既習事項を確認して新しい学習へと向かうスパイラルの構成で学びやすくするとともに、『復習』や『練習』のコーナーを適切に設けて確かな理解の定着が図れるようにしています。高学年では、小学校と中学校の円滑な接続が図れるよう配慮し、『数学へのとびら』で中学校数学との繋がりを示しています。

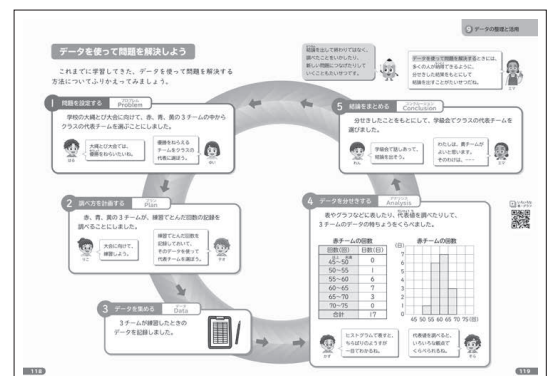
### ① 系統性を踏まえて、6年生でも「割合」に関する問題を取り上げています

算数の中で習得・活用が困難だといわれる内容に「割合」があり、中学校においてもつまずきが見られることが少なくありません。6年生においても継続して「割合」の意味や用法の定着が図れるよう、『割合を表す分数』(p.64~67)や『全体を1とし、割合を考えて』(p.198~201)を設定しています。

### ② 児童の未来を見据えて、学んだことが生きて働くものとなるように展開しています

児童の未来を見据えたとき、特に重要となる内容に「統計」があります。知識としてだけでなく、生きて働くものとなるよう統計的な問題解決の方法(PPDAC)に沿って学習をふり返る場面を設けています。

ここで学んだ統計的な問題解決の方法を、『わくわくSDGs』のコーナーでいかにできるようにしています。



>>> p.118-119「データを使って問題を解決しよう」

### ③ 学び続けることの大切さを知ってほしい『未来へのとびら お仕事インタビュー』(p.230~240)

6年間で学んできた算数やこれから学ぶ数学が、子どもたちの未来にどのように繋がっているかをインタビュー記事を通して紹介しています。

お仕事の中で算数の考え方をを使うことはありますか？

例えば、ロボットをある位置まで移動させたいとき、「右ななめ前にちょっと進んで」というだけでは、ロボットは意味を理解することができません。ロボットに意味を正確に理解させるためには、人が筋道をたてて指示を出す必要があります。この指示の集まりをアルゴリズムといいます。

>>> p.238-239(ロボットエンジニア 田中章愛さん)



## 学びをいかそう『わくわくSDGs』



水害に備えようプロジェクト



>>> p.204-207

学年の最後に、SDGsの達成に向けて自分たちに何ができるかを考えるコーナー『わくわくSDGs』を設けています。6年生では、「気候変動への備え」をテーマに展開しています。

**1. 問題を見つける**

**水害への備えができていかな？**

2009年から2018年までの10年間で河川のはらんなどによる水害が一度も起きていない市区町村は、全体の2.8%だけでした。

大雨に備えて、得ができることを考えてみたいね。

**2. 調べる考える**

**1時間あたりの最大の降水量**

降水量(mm)	熊本市	神戸市	千葉市	札幌市
0~10未満	0	0	0	1
10~20	0	5	1	19
20~30	0	9	12	23
30~40	12	18	17	5
40~50	9	12	10	2
50~60	9	4	6	0
60~70	9	2	2	0
70~80	8	0	2	0
80~90	2	0	0	0
90~100	1	0	0	0
合計	50	50	50	50

**3. 話し合う**

大雨の情報はどのように手に入ればよいのかな。

みんなで助けあうための備えもあるのかな。

みんなで話しあって考えたことは、SDGsという社会のみんなが取り組んでいる目標にもつながっていくよ。

**4. 深める広げる**

**みんなのSDGs**

**災害対策への取り組み**

災害が発生したときに、だれもがいのちを守る行動がとれるように備えておくことが大切です。兵庫県では、日本語がわからない人に向けた取り組みとして、災害対策の情報がいちいち日本語で用意されています。

**13 気候変動に具体的な対策を**

**10 人や国の不平等をなくそう**

**SDGsのポータルサイトへアクセスできます。**

## 観点別特色

観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教育基本法及び学習指導要領の遵守	▶教育基本法第二条「教育の目標」を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶教育基本法第四条「教育の機会均等」の通り、すべての児童がひとしく教育を受ける機会が得られるよう、書体や配色、レイアウトにユニバーサルデザインを取り入れ、また、解説動画を含む多数のQRコンテンツを用意しています。	全体
	▶数学的活動に児童1人ひとりが主体的に取り組めるよう、また、協力して取り組む活動や考えを伝えあう活動を通して協働的に学習を進められるよう、児童の発言や活動の様子を数多く例示しています。	全体
主体的・対話的で深い学び	▶児童自らの「問いや気づき」を『めばえ』として掲載し、児童から『めあて』を引き出せるよう展開しています。また、児童らの考えや発言を例示し、伝えあう活動を通して『まとめ』が生まれるよう展開しています。	全体
	▶学習を積み重ねることによって学びが一層深まるよう、学びのつながりを重視し、軸となる「数学的な見方・考え方」にマーカーを付して強調しています。	全体
数学的な見方・考え方	▶巻頭「考えの進め方」で前学年の学習における「数学的な見方・考え方」を整理して、本学年の学習にいかすことができるようにしています。	p.9
	▶単元の入口で既習事項に触れ『これから学習することのめあて』を例示することで、統合的・発展的に考えを進めていけるようにしています。	p.26、42、88、98 など
	▶単元末の『ふりかえろう』で単元全体をふり返り、大切だと思ったことを明文化することで「数学的な見方・考え方」を児童自らが価値づけることができるようにしています。	p.35、55、97、105 など
知識及び技能の習得	▶各単元に『じゅんび』を設定し既習事項を確認できるようにすることで、新たな学習の基礎的な知識・技能がスムーズに習得できるようにしています。	p.242-245
	▶各種学力調査や先生方のお声を踏まえ、児童がつまずきやすいとされる内容には、考え方が確認できるアニメーションやくり返し学習ができる練習問題などのQRコンテンツを用意しています。また、定着が困難な内容は『復習』で再度取り上げ、①のマークを付しています。	p.44、62、86-87、93、143 など
	▶『復習』や『練習』のコーナーを適切に設けて、確かな理解の定着が図れるようにしています。	p.31、41、63、75、86-87 など
思考力・判断力・表現力等の育成	▶対話的な学びの中で、わかったことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を適宜例示し、思考力や表現力が育めるようにしています。	p.5-7、22-23、44、57、94-95 など
	▶既習事項をいかす場面では、見通しを立てたり、根拠を持って考えを進めたりする様子を例示し、思考力や判断力が育めるようにしています。	p.22-23、64-65、89、149 など
	▶思考力・判断力・表現力等を日常生活にいかし一層伸ばしていくことができるよう、『学びをいかそう』のコーナーを適宜設けています。	p.15、82-83、184-185 など
学びに向かう力・人間性等の涵養	▶児童が興味・関心を持って学習に向かうことができるよう、身のまわりの事柄や既習事項から算数の学習へと入っていけるようにしています。	p.10-11、70、106、128 など
	▶単元末の『やってみよう』では、児童が大切だと思ったことを生かす活動を例示し、学んだことを生かそうとする態度を育めるようにしています。	p.35、55、97、105 など
	▶『学びをいかそう』では、日常の場面で算数を活用する課題を取り上げ、算数の有用性を感じ学び続けようとする態度を育めるようにしています。	p.15、82-83、184-185 など
評価	▶単元末の『たしかめよう』を、知識・技能や思考力・表現力・判断力の評価に繋がられるよう構成しています。	p.34、54、96、104 など
	▶単元末の『ふりかえろう』『やってみよう』を、主体的に学習に取り組む態度の評価に繋がられるよう構成しています。	p.35、55、97、105 など
内容、配列、分量	▶学びの繋がりを重視したスパイラルの構成で学びやすくしています。	全体
	▶年間配当時数は137時間とし、標準時数(175時間)よりも余裕を持たせた分量で構成しています。	全体



観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
学習方法・展開の工夫	▶『めばえ』から『めあて』、そして、『まとめ』へと続く展開で、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう構成しています。なお、『めあて』と『まとめ』はほぼすべての時間で例示しています。	p.4-7, 22-23, 47, 72, 149, 168-169など
	▶高学年では <b>自立的な学びを促せるよう配慮し</b> 、学習内容を1冊にまとめています。また、 <b>学力の保障・向上となるよう巻末『学びをつなげよう』で5年生までの内容がふり返られるように</b> しています。	全体
1人1台端末環境への対応	▶ <b>問題解決にICTを活用できる</b> よう、シミュレーションのQRコンテンツを用意しています。図形の学習では、 <b>具体物の操作では時間のかかる活動も簡単に行える</b> ようにしています。	p.14, 22, 73, 114, 142など
	▶『わくわくプログラミング』では、 <b>プログラミング体験を通して数の見方・考え方を深めることができる</b> ようにしています。プログラミング的思考としては、順次処理、反復処理、条件分岐を学ぶことができます。	p.186-187
	▶児童の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書(有料)を発刊します。	全体
個別最適な学びへの配慮	▶動画やフラッシュ問題などのQRコンテンツを数多く用意し、 <b>児童1人ひとりの実態にあった最適な学びが実現できる</b> よう配慮しています。	p.44, 62, 102, 119など
	▶自学で取り組めるフラッシュ問題のQRコンテンツは、 <b>児童が必要と感じたときに解決のヒントを確認</b> できるようにしています。	p.24, 31, 41, 54など
	▶巻末の『もっと練習』では、基本問題と挑戦問題を掲載し、 <b>個に応じた学び(習熟度別学習)に対応</b> できるようにしています。	p.246-257
協働的な学びへの配慮	▶児童1人ひとりの「問いや気づき」を共有するとともに、 <b>みんなと一緒に考えて協働的に学習を進めていく</b> ことができるようにしています。	全体
	▶多様な考え方を取り上げた場面では、 <b>考えを伝えあう活動の中で「数学的な見方・考え方」を働かせて深めていく</b> ことができるようにしています。	p.4-7, 44, 71, 89, 94-95, 107-108など
学びのつながり	▶ <b>学びのつながりを感じながら進められる</b> よう、巻頭の『もくじ』や巻末の『学びをつなげよう』で、既習事項学習との繋がりを示しています。	もくじ、 p.266-269
	▶5年生までの学習や中学校数学との繋がりに配慮し、「割合」や「データの活用」の系統に位置づく内容を丁寧に展開しています。	p.64-69, 106-123, 198-201など
教科担任制への配慮	▶単元末の『やってみよう』で探究的な課題を取り上げたり、『数学へのとびら』で適宜中学校数学との繋がりを示したりして、 <b>指導のねらいに応じて学びを深められる場面</b> を用意しています。	p.81, 105, 108, 116, 139, 213など
他教科との関連(カリキュラム・マネジメント)	▶社会科との関連として、 <b>様々な資料や調査による情報を適切にまとめる技能の習得に配慮</b> し、人口構成や地図などの資料を取り上げています。	p.120-121, 150-151, 191など
	▶道徳科との関連として、自分と異なる意見や立場を尊重することなどに配慮し、 <b>互いに協力しながら活動</b> できるようにしています。	p.4-7, 184-185など
持続可能な開発目標(SDGs)、環境教育	▶森林面積の題材を取り上げたり、自然災害に備えるために自分たちができることを考える『わくわくSDGs』のコーナーを設けたりして、 <b>環境の保全、福祉や社会形成に寄与する態度が育める</b> よう配慮しています。	p.82-83, 204-207など
キャリア教育への配慮	▶算数・数学の有用性に加え、学び続けることの大切さを感じ得るよう、社会で活躍する4名の方のインタビュー記事を掲載しています。	p.230-240
衛生、感染症対策	▶教科書制作において感染症対策を徹底するとともに、教科書ご利用の際の留意点を巻頭に掲載しています。	もくじ
臨時休校等への配慮、学校外での学習活動	▶主たる問題(1の問題)のすべてに <b>解説動画を用意し、臨時休校等においても学びが途絶えることのないよう</b> 配慮しています。	全体
	▶既習事項の定着や確認を図るQRコンテンツを配し、 <b>学校外での学習活動においてもヒントや答えを確認しながら自学で取り組める</b> よう配慮しています。	p.24, 31, 41, 54など
用紙、印刷、製本	▶用紙には、軽くて印刷が鮮明な再生紙を採用しています。印刷には、植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮しています。	全体
	▶製本は、開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいことに配慮し、「あじろ綴じ」製本を採用しています。	全体
	▶学習において操作活動が有効な場面で、教材準備に時間や特別な配慮を要するものには、巻末に切り取り教具を用意しています。	p.271

## 2 対照表

単元名	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	配当月	
6年	★算数のとびら	第3-2-(1) (高め合うための協働的な学び方)	p.4-9	1	4月
	①対称な図形	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.10-25	9	
	②文字と式	A(2) ア(ア) イ(ア)	p.26-35	7	5月
	③分数×整数、分数÷整数	A(1) ア(ア) イ(ア) 内(2)	p.36-40	3	
	・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.41	1	
	④分数×分数	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内(1)	p.42-55	12	6月
	⑤分数÷分数	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内(1)(2)	p.56-69	11	
	⑥場合を順序よく整理して	D(2) ア(ア) イ(ア)	p.70-81	9	7月
	●どんな計算になるのかな	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.82-83	1	
	●算数の自由研究	第3-3-(2) (数学的活動を楽しむ機会)	p.84-85	1	
	・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.86-87	1	9月
	⑦円の面積	B(3) ア(ア) イ(ア) 内(3)	p.88-97	5	
	⑧立体の体積	B(4) ア(ア) イ(ア)	p.98-105	5	9月
	⑨データの整理と活用	D(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.106-115 p.117-123	9	
	●見方・考え方を深めよう	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.124-125	2	10月
	・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.126-127	1	
	⑩比とその利用	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.128-139	8	11月
	⑪図形の拡大と縮小	B(1) ア(ア) イ(ア)	p.140-153	9	
	⑫比例と反比例	C(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.154-181	14	12月
	●見方・考え方を深めよう	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.182-183	2	
	●見積もりを使って	第3-2-(6) (目的に応じた結果の見積もり)	p.184-185	1	
	●わくわくプログラミング	A(2) イ(ア) 第3-2-(2) (プログラミング体験)	p.186-187	1	12月
	・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.188-189	1	
	⑬およその形と大きさ	B(2) ア(ア) イ(ア)	p.190-197	4	1月
	●見方・考え方を深めよう	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.198-201	2	
	●すぐろく	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.202-203	1	
	●わくわく SDGs	D(1) ア(ウ) イ(ア)	p.204-207	1	
	・6年のまとめ	第3-1-(2) (中学校への円滑な接続)	p.208-229	15	2・3月
	★みらいへのとびら	第3-2-(3) (算数・数学を学ぶ意義を実感する機会)	p.230-240	—	—
	★学びのサポート	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.241-270	—	—
		配当時数	137		
		予備時数	38		

記号の意味 ●…活用・問題解決のページ、★…特設ページ、内…内容の取扱い、第3…指導計画の作成と内容の取扱い

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-147	小学校	算数科	算数	6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 620	わくわく 算数6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
35	学びをいかそう やってみよう	1	A(2) ア(ア) イ(ア) (数量を文字を用いて表す学習に関連して、規則をもった数列の一般項の表し方を扱います。)	0.75
81	学びをいかそう やってみよう	1	D(2) ア(ア) イ(ア) (起こり得る場合を順序よく整理するための図や表の使い方を考察することに関連して、やや複雑な場合の数を考える課題を扱います。)	0.75
105	学びをいかそう やってみよう	1	B(4) ア(ア) (立体図形の体積の学習に関連して、四角錐について、同じ底面と高さの四角柱の体積との比較を簡単に扱います。)	0.75
108	算数ポケット 最大値・最小値・ 範囲	1	D(1) ア(ア)(イ) (代表値や度数分布表の学習に関連して、データの最大値・最小値・範囲について紹介します。)	0.25
116	算数ポケット 階級の区切り方を 変えると?	1	D(1) ア(イ)(ウ) イ(ア) (度数分布表やヒストグラムの学習に関連して、階級幅を変更した場合について紹介します。)	1
169	算数ポケット いろいろな変わり方の グラフ	1	C(1) ア(ア)(イ) (比例の学習に関連して、折れ線で表される関数のグラフについて簡単に扱います。)	0.5
179	算数ポケット 曲線で表された 反比例のグラフ	1	C(1) ア(ウ) (反比例の学習に関連して、グラフが曲線となることを紹介します。)	0.25

213	数学へのとびら 0より小さい数	1	A(1) イ(ア)、第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(2) 2(5) (学年間の指導内容を円滑に接続させるとともに、 数量や図形についての豊かな感覚を育てるため、 6年生までに学習したことと関連させて、中学校で 学ぶ負の数について紹介します。)	0.75
217	数学へのとびら 同じ数を何度も かける計算	1	A(2) イ(ア)、第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(2) 2(5) (学年間の指導内容を円滑に接続させるとともに、 数量や図形についての豊かな感覚を育てるため、 6年生までに学習したことと関連させて、中学校で 学ぶ指数について紹介します。)	0.75
221	数学へのとびら 図形の性質や関係	1	B(1) イ(ア)、第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(2) 2(5) (学年間の指導内容を円滑に接続させるとともに、 数量や図形についての豊かな感覚を育てるため、 6年生までに学習したことと関連させて、中学校で 学ぶ証明について紹介します。)	0.75
225	数学へのとびら ともなって変わる 数量の関係	1	C(1) ア(ア) イ(ア)、第3 指導計画の作成と内容 の取扱い1(2) 2(5) (学年間の指導内容を円滑に接続させるとともに、 数量や図形についての豊かな感覚を育てるため、 6年生までに学習したことと関連させて、中学校で 学ぶ関数について紹介します。)	0.5
227	数学へのとびら ことがらの 起こりやすさ	1	D(2) イ(ア)、第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(2) 2(5) (学年間の指導内容を円滑に接続させるとともに、 数量や図形についての豊かな感覚を育てるため、 6年生までに学習したことと関連させて、中学校で 学ぶ確率について紹介します。)	0.75
合 計				7.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、  
当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容